

一般社団法人日本内科学会平成30年度第1回理事会議事録

1. 日時 平成30年3月23日(金)14時～16時30分
2. 場所 東京都文京区本郷3丁目28番8号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室
3. 出席者 [理事]
門脇 孝(理事長)、高橋弘毅、小池和彦、滝川 一、矢富 裕、成田一衛、武田 純、長谷川好規、
梶波康二、赤水尚史、竹原徹郎、樋口和秀、高山哲治、赤司浩一、田中良哉の15名
[監事]
小澤敬也、竹内 勤の2名
[その他出席者]
河野修興(第115回講演会会長)、川名明彦(和文誌編集主任)、
工藤翔二(内科系学会社会保険連合理事長)の3名
欠席者 [理事]
下川宏明、磯部光章、伊藤 裕、木原康樹の4名
[監事]
岡山昭彦の1名
[その他の欠席者]
橋本直純(第116回講演会準備委員長)、横山彰仁(認定医制度審議会会長)の2名

4. 議事の経過及び結果

門脇 孝理事長が議長となり、次の21議案について逐次審議することとなった。

第1議案 平成29年度事業報告

矢富総務担当理事より、別紙事業報告があり、承認を得た。

第2議案 平成29年度会計決算報告および監査報告

滝川財務・組織管理担当理事より、別紙会計報告と、小澤監事より監査報告があり、承認を得た。

第3議案 学術集会運営委員会関係報告

高橋委員長より、委員会年次報告、河野会長より、第115回講演会について、長谷川会長より、第116回講演会および第46回内科学の展望についての報告があり、了承を得た。

第4議案 学会在り方検討委員会関係報告

梶波委員長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。また、本委員会およびワーキンググループにて検討した「超高齢社会を迎える総合内科専門医の在り方について」(案)および「総合内科専門医の医師像2018」(案)について説明があり、各理事から内容について特段の意見なく承認を得た。今後、両案(総合内科専門医を内科のサブスペシャリティとして再定義して位置づけること)については認定医制度審議会にて制度の詳細を検討していくこととした。

第5議案 生涯教育委員会関係報告

長谷川委員長より、委員会の年次報告と平成30年度の開催計画の報告があり、了承を得た。その際に生涯教育講演会のオンデマンド配信を聴講して問題に解答すると、現在は正解率60%で合格として認定更新単位が付与されるが、単位付与の基準としては低いのではないかと意見があったとの報告があり、セルフトレーニング問題の正解率も含めて認定医制度審議会での検討の要請があった。

第6議案 認定医制度審議会関係事項

(1) 本年度委員会年次報告

赤司担当理事より、認定医制度審議会と新内科専門医制度を迎えた体制に関する報告、試験委員会、救急委員会の年次報告がそれぞれあり、承認を得た。行政処分対象者からの認定内科医資格抹消撤回に関する要望については、本審議会での審議の結果、資格試験を再受験して再取得していただくこととしたとの報告があり、承認を得た。

(2) 専攻医登録システム(J-OSLER)の非会員の利用料について

事務局より、非会員のJ-OSLER使用料の算出根拠について説明の後、本審議会での審議の結果、1年につき20,000円(税別)としたいとの提案があり、承認を得た。

第7議案 専門医部会関係報告

梶波専門医部会会長より、平成29年度の事業報告および平成30年度の事業計画等について報告があり、了承を得た。

第8議案 学会誌編集委員会関係事項

(1) 和文誌編集会議報告

川名編集主任より、委員会の年次報告と今後の発行予定等の報告があり、了承を得た。

(2) 英文誌編集会議報告

赤水編集主任より、委員会の年次報告と電子ジャーナル掲載状況等の報告があり、了承を得た。

第9議案 総務委員会関係報告

(1) 本年度委員会報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

(2) 功労会員の追加推薦について

議長より、平成30年3月末日までに満65歳に達する会員の中から、前回理事会の際に誕生日の関係で推薦されなかった配布資料の2名について、「年齢計算に関する法律」により推薦が適切であるとの説明の後、本年4月に開催の定

時総会において前回承認した 26 名と合わせて功労会員に推薦したいとの提案があり、了承を得た。

(3) 各種規程の変更について

議長より、これまで委員会規程がなかった委員会および規程はあるが成立要件など不備な点がある委員会の規程について整備したいとの説明の後、新規作成として、学会在り方検討委員会、生涯教育委員会、改定案として総務委員会、倫理・医療安全委員会、利益相反委員会、財務・組織管理委員会の 6 つの委員会について規程案の提案があり、承認を得た。また、理事会に関する規程について、理事長が欠けた際の規定が本会定款と整合性がとれていないこと、従来の規程では女性理事が誕生しにくいことから改定案について説明、提案の後、評議員会へ諮ることの承認を得た。支部に関する規則については、支部の事業年度を本部の事業年度に合わせることから改定案について説明、提案があり、承認を得た。

(4) 地方会参加費の徴収について

議長より、参加費を徴収せずに開催している地方会の開催費について、幾つかの支部で財政状況を圧迫しているとの説明の後、開催費用に充てるために地方会参加費として各支部一律で 1 人あたり 1,000 円（税込）を徴収したいとの提案があり、承認を得た。また、医学生、初期研修医については他企画と同様に参加費を免除することとし、承認を得た。

第 10 議案 財務・組織管理委員会関係報告

議長より、委員会の年次報告があり、了承を得た。

第 11 議案 支部関係報告

高山担当理事より、平成 29 年度の支部代表者会議と各地方会の開催状況、平成 30 年度の各支部宛助成金額の報告があり、了承を得た。

第 12 議案 平成 30 年度評議員候補者推薦について

議長より、大学からの候補者、教育施設からの候補者、その他の支部推薦の候補者および本会の運営に必要な者について総務委員会で審査を行ったこと、また、女性教授について対象を寄附講座を除いた常勤の内科教授とし、「特任教授」、「病院教授」、「診療教授」、「臨床教授」を含めて大学の女性教授の有無についてアンケートを実施した結果、平成 29 年度の大学 22 名、教育施設 5 名、支部推薦 18 名の計 45 名から平成 30 年度は大学 26 名、教育施設 6 名、支部推薦 18 名の計 50 名へと女性比率（6.7%→7.5%）がアップしたことの報告の後、別紙記載の通り平成 30 年度の評議員を委嘱したいとの提案があり、承認を得た。

第 13 議案 平成 30 年度理事、監事、各委員会委員候補者推薦について

議長より、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に平成 30 年度の理事を委嘱するよう定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。監事については、退任する岡山昭彦、小澤敬也に代わり門田淳一（大分大学）、長谷部直幸（旭川医科大学）に委嘱するよう定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。各種委員会委員については、各支部から推薦のあった別紙記載の方々に認定医制度審議会、学会在り方検討委員会、生涯教育委員会の各委員会委員を委嘱したいとの発言があり、了承を得た。また、利益相反委員会委員、編集会議委員については提案どおり委嘱することで了承を得た。なお、学術集會運営委員会委員については、規程の通り定例評議員会で選挙にて選出すること、また、財務・組織管理委員会委員については次期理事長に推薦をお願いすることで了承を得た。

第 14 議案 次期理事長について

議長より、これまで理事長の選出について慣例により前理事長の推薦にて行っていたが、理事の互選により選出する方法に移行するため、その経過処置としての手順について提案があり、承認を得た。その後、小池理事より矢富理事を次期理事長候補の理事として推薦があり、矢富理事が退室し、審議を行った。梶波理事より「専門医部会関東支部の活動復活に大変なご尽力を頂いた。人格的にも適任である。」との意見がなされた。審議の結果、矢富理事を次期理事長候補の理事として本年 4 月に開催の定時総会へ諮ること承認を得た。

第 15 議案 平成 30 年度関係団体への本会代表委員および専門委員について

議長より、別紙記載の方に平成 30 年度関係団体への本会代表委員および専門委員を委嘱することの提案があり、承認を得た。

第 16 議案 定例評議員会および平成 30 年定時総会の運営について

議長より、議案説明担当者の確認と関連会議の開催の確認があり、了承を得た。

第 17 議案 平成 30 年度予算修正の件

事務局より、平成 30 年度予算の J-OSLER 使用料、受取寄付金の金額変更による修正について説明があり、承認を得た。

第 18 議案 新入会者の件

議長より、平成 29 年 12 月 22 日から本年 3 月 22 日までに 878 名の入会者があったとの報告があり、了承を得た。

第 19 議案 会員資格喪失の件

議長より、定款第 12 条第 1 項第 5 号の会費未納による会員資格喪失の件を定時総会に諮ることの提案があり、承認を得た。

第 20 議案 関連団体関連事項

(1) 日本専門医機構関係報告

事務局より、日本専門医機構の年次報告と現況についての報告があり、了承を得た。また、議長より総合診療版 J-OSLER の開発費の支払いについて、機構から 5 年間の均等分割による支払いにしたいとの依頼が来ているとの報告の後、機構の財政状況を鑑みて 5 年間の均等分割による支払いに応じることとして、承認を得た。

(2) 内科系学会社会保険連合関係報告

事務局より、内科系学会社会保険連合の年次報告があり、了承を得た。

(3) 日本医学会連合関係報告

滝川日本医学会連合評議員より、日本医学会連合の年次報告があり、了承を得た。

(4) 国際内科学会議関係報告

議長より、国際内科学会の役員、国際内科学会議の今後の開催予定等について報告があり、了承を得た。

第21議案 その他

(1) 「AMED 臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業 永井班」への協力について

議長より、事業の概要および本会地方会で発表された症例報告のデータの活用について協力依頼があったことの報告の後、本件は AMED の研究であり、日本の医学医療の進歩に貢献するものであることから協力することとしたいとの提案があり、承認を得た。

(2) 内科系学会社会保険連合（内保連）からの依頼事項について

工藤内科系学会社会保険連合理事長より、医療技術負荷度調査について説明の後、協力依頼の際に内保連との連名として本会の名称を使用させていただきたいとの依頼があり、協力することで承認を得た。

(3)

議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

平成 30 年 3 月 23 日

一般社団法人日本内科学会理事会 議長（理事長） 門脇 孝

議事録署名人（監事） 小澤 敬也

議事録署名人（監事） 竹内 勤